

日経平均は底堅い動きも週末の米国市場は下落

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

3 営業日ぶりの反発

先週末の東京市場では、米国市場でハイテク株が上昇したことが好感されて日経平均は前日比+326円(+1.1%)の2万7901円と3営業日ぶりの反発で終えた。業種別騰落率ではガス(前日比+2.2%)、精密機器(同+2.2%)、電気機器(同+2.0%)が上昇率の上位、下落率が大きかったものに鉱業(▼1.4%)、空運(同▼0.5%)、石油(同▼0.5%)があった。個別銘柄では、米国市場で半導体関連銘柄が買われたことが好感されて、アドバンテスト(前日比+5.7%)、東京エレクトロン(同+2.9%)、レーザーテック(同+5.2%)といった半導体製造装置関連銘柄が買われ、日本電波工業(同+9.0%)、共和電業(同+8.2%)、サンケン電気(同+5.3%)といった電子部品銘柄が高い。一方で、前日に22年2-10月期の決算を発表した積水ハウス(前日比▼2.9%)は純利益が大幅増益であったものの材料出尽くしとの見方から売られた。日経平均は週間では+123円(同+0.4%)の上昇で終えた。

PPI は市場予想を上回る

現地9日の米国市場では、発表された11月のPPI(米生産者物価指数)が市場予想を上回ったことから米長期債の利回りが上昇したことが嫌気されて、NYダウは前日比▼305ドル(▼0.9%)の3万3476ドル、ナスダックは同▼77ポイント(▼0.6%)の1万1004ポイントで終えた。グロース銘柄が買われ、個別銘柄ではテスラ(前日比+3.2%)が5営業日ぶりの上昇となり、ネットフリックス(同+3.1%)、ボーイング(同+0.2%)、フォード(同+0.4%)などが買われた。一方で、エヌビディア(同▼0.9%)、AMD(同▼2.6%)、モデルナ(同▼3.9%)などが下落した。SOX指数は前日比▼0.8%の下落であった。WTI原油先物は前日比▼0.6%の71.02ドルと6営業日続落、米10年債利回りは前日比+0.10%の3.58%で終えた。

今週の予定

現地9日のシカゴ日経平均先物は対証比▼105円の2万7745円で終了、今朝のドル円は1ドル136.60円程度の円高(7:20時現在)で推移している。今週は国内では12日に10~12月期の法人企業景気予測調査、14日に12月の日銀短観、15日に11月の貿易統計、海外では13日に11月の米CPI、14日に米FOMCの結果発表、15日に11月の米小売売上高の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2022/12/9 現在

日経平均	2万7901円
プライム売買代金	2兆9321億円
プライム時価総額	703兆7381億円
日経平均予想PER	12.7倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

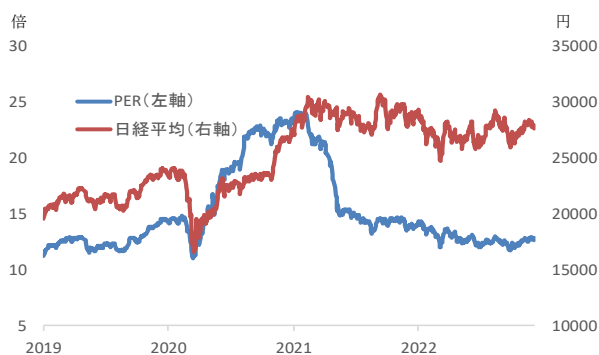
国内株式売買代金ランキング

2022/12/9 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	5.2%
2 ソフトバンクグループ	1.1%
3 東京エレクトロン	2.9%
4 ファーストリテイリング	0.6%
5 トヨタ	0.7%
6 ソニーグループ	2.2%
7 三菱UFJFG	0.9%
8 アドバンテスト	5.7%
9 武田薬品	1.7%
10 キーエンス	2.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa